



# いなみ町議会だより



春の日差しに花開く「光明寺の桜」

## 3月定例議会

- 20年度予算審議・議案審議……………P2～P5
- 一般質問（8議員）……………P6～P13
- 委員会活動報告……………P14～P15
- ゴルフ場紹介・あとかぎ……………P16



# 平成20年第1回印南町議会定例会

平成20年第1回印南町議会定例会は、3月11日開会し、19日閉会しました。

今回の上程案件は、条例制定2件、条例改正6件、整備計画1件、規約の変更1件、町道路線関係1件、請負契約1件、平成19年度補正予算6件、平成20年度一般・特別会計予算10件が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。さらに、議員発議による意見書2件の提出を可決しました。

平成20年度当初予算 = 一般会計 43億9,161万6千円  
+ 特別会計 38億9,222万5千円

総額 81億9,585万2千円

## 特別会計詳細

- 国民健康保険事業……………12億6,890万2千円
- 老人保健事業……………1億1,064万6千円
- 後期高齢者医療……………2億2,346万3千円
- 介護保険事業……………7億2,899万3千円
- 印南町簡易水道事業……………1億6,984万6千円
- 美浜町・日高町・由良町・印南町指導主事共同設置事業……………2,072万1千円
- 農業集落排水事業……………1億8,201万5千円
- 同和対策新築家屋貸付金……………1,350万1千円
- 印南町宅地造成事業……………1,800万2千円
- 滝ノ岡専用水道事業……………831万2千円

## 20年度一般会計予算質疑

一般会計予算は討論の結果、賛成12反対1で可決されました。

### 企画費の委託料について

企画費の委託料で「その他振興計画策定委託料」で100万円が計上されているが、「その他」とは何をさすのか。

突発した事態になった場合に活用する。例年、一般会計に予算計上している。

### 防災に関する予算について

防災諸費の中に避難道路整備工事費100万円計上されているが、場所は特定されているのか。

町の津波避難マニユアルに基づき避難道の整備、改良を目的としているが本年度は具体的な予定はないが、避難道を有している各区の要望に応える、ということとで計上している。



要害山避難道路を改修

### 社会福祉協議会への補助金について

社会福祉協議会に1,747万円が計上されているが、その用途は。

人件費2名分で1,502万9千円、福祉タクシー券135万8千円、法人運営費33万9千円、ボランティア活動支援事業費に24万9千円、災害対応で10万1千円、福祉電話設置の委託料に8万5千円となっている。

### 老人福祉について

老人福祉費の委託料で1,789万1千円計上されているが、昨年より400万円、減額されている理由は。

在宅介護支援センター1委託料1,268万5千円の中に生活管理指導事業の委託料を移項した関係です。

### 隣保館事業について

隣保館事業費に2,184万円が計上されているが、どのような効果が上がっており、どのような事業効果を期待し、予算計上しているのか。

施設は廃止していないので、その管理及び職員の人件費の計上である。

人件費が1,570万円かかり、予算の72%もかかっているが、それだけの仕事をしているのか。

予算項目の見直しの中で対応していかねればならない。

### 環境衛生について

**Q** 不法投棄ゴミ撤収委託料で50万円が計上されているが、どのような場合に予算が使われるのか。

**A** 町で対応できないものがあれば業者に委託して処理を依頼した場合に予算執行する。



あつてはならない不法投棄

### 観光費に関連して

**Q** 観光費の中に観光案内の看板を移転する費用70万円が計上されているが、どこへ移すのか。

**A** 旧紀南パレス跡地に1基あるが、地元の承諾を得て、斑鳩王子敷地内に移転する。

### 放課後子ども教室について

**Q** 放課後子ども教育の賃金が計上されているが、町内ではどこで、何ヶ所で行われているか。

**A** この事業は国の事業を活用しており、平成19年度は印南小学校と切目小学校2校をモデル的に実施。平成20年度は全ての学校で実施する予定である。

### 地域イントラネットの整備について

**Q** 地域イントラネット基盤整備事業として9,383万円が計上されているが、当初は1億7,640万円を10年で分割し、今年度は1,764万円の費用が必要との説明があつたが、費用はどれ程予定しているのか。

**A** イントラネットリース料2,33万8千円は17公施設整備のための予算です。全体として5年、60ヶ月のリース代として4,674万6千円。地域イントラネット基盤整備事業費には9,883万円

の予算計上をしている。これは個人向けインターネットとイントラネット幹線を同時に整備する予算が1億7,640万円、10年分割で今年度は1,764万円の計上である。

**Q** 民設民営の場合、リース料の支払いと設備の消耗との関係で、どのように考えているか。

**A** 幹線に1億7,640万円、リース料に4,674万6千円、60ヶ月の地域イントラネット基盤整備17ヶ所のリース料を含め1億2,900万円が必要であり全体で約3億円程度になる。

### 岐山地区農道整備工事について

**Q** 岐山地区農道整備工事に2億7,151万円が計上されているが進捗率は。

**A** 平成19年度末で55%である。

**Q** 工事区間の一部で崩土が発生しているが、設計ミス等があつたのではないか。

**A** 本年度の計画の中で約60mにわたり崩土が生じた。これは高い切り取り断面、軟岩が原因で設計ミスではない。今後、ボーリング調査などを行い、崩土が起こらないようにしていく。

### 町営住宅の管理について

**Q** 住宅解体・敷地整備工事費用として500万円が計上されているが、内容の説明を求める。

**A** 上道地区の改良住宅1棟の解体撤去の費用である。

**Q** 住宅改善工事費として3,800万円が計上されているが、内容と今後の年次計画は。

**A** 公営住宅を改善していく事業である。平成20年度は切山第1団地10戸、上道地区の公営住宅8戸を改善するための費用である。

### 「ゴミ清掃車に関する質問

**Q** 清掃車の車検整備費に100万円の計上がされているが、何台分の費用か。

**A** パッカー車を2台確保しているが、耐用年数がきている。故障した場合の予備車で2台確保しており、軽四のダンプ1台で合計3台分の車検費用である。

### 町民プールの敷地使用料について

**Q** 町民プールの敷地使用料として376万8千円が計上されているが、年間の支払金額としては高額ではないか。

**A** この金額の見直しは出来ないのか。

**A** 3年に1度、見直しをしている。平成19年度がその年となっており、交渉・調査を行った。その基本となったのは固定資産税の動向、民間の賃貸料の動向などを勘案して、据え置きをしている。

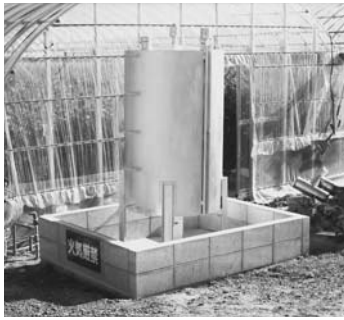
——印南・切目テレビ中継局に関して

**Q** 印南・切目テレビ中継局保守点検料として154万4千円が計上されているが、その内容は。

**A** 専門業者が2ヶ月に1度、画質・音声などの具合を確認し、同時に建物の中の機材が正常に動いているか、その他進入道路内の異状はないか、などの点検をしている。

——防油堤の推進事業に関する質問

**Q** 防油堤推進事業として300万円を計上し、1000基予定で1基3万円の補助をするとのことだが、どのような募集方法にするのか。申し込みがない場合はどうするのか。



設置された防油堤

**A** 今後、JAや町の広報誌を充て、募集をかけていきたい。農家には浸透していると考えている。どれ程の応募があるかは把握できていない。

——学校関連のコンピュータのリース料について



パソコンによる教育は必須課程となった

**Q** 教育用パソコンを平成21年～25年までに1億1千万円で借りるといっていますが、こんなにリース料をかけてよいのか。効果は。

**A** 小学校も1人1台の対応を行う。生徒用に107台、指導用に6台、教師の業務指導として50台～60台を予定。中学校は生徒用に1221台、パソコン教室の指導用、

教師用で4台、普通教室にも1台ずつ設置し15台、教師の教育指導のために46台～50台程度を予定している。

——図書に関する質問

**Q** 図書検索システムに約700万円がかかっているが、町のインターネットの契約数や個人的にどの程度インターネットの中で、この検索システムが必要か。費用対効果は。

**A** このシステムは平成16年から実施、ハード面のリースが平成21年で終了し、200万円程度になると予想している。費用対効果は平成16年度の貸し出し冊数は500～600冊、平成18年度は各月1000冊以上の実績となっている。確実に実績は上がっている。

——町道西浜小学校線に関する質問

**Q** 町道西浜小学校線に関連する費用として3,451万円が計上されているが、ルートと目的は。

**A** ルートは国道42号線から町道本町線を結び道路を改良する。目的は重要な生活道路であり、東南海・南海地震に伴う避難用道路として大きな役割を果たす。

**Q** この工事による立ち退き戸数は。また、幅員が1.7mと狭く工事が完成すれば住環境整備災害時発生における迅速な対応等、役割は重要と考える。

**A** 現在の予定では本年度で1戸、廃屋で1ヶ所。

——小・中学校のスクールバスに関する質問

**Q** 小学校費の中にスクールバス運行委託料として1,084万2千円が計上されているが、何社の入札の申し込みがあるか。

**A** 12月17日に応募を切り、6社があり、3月25日に決定する。

**Q** 中学校費の中でスクールバス運行委託料として650万5千円計上されているが、平成19年度は43

0万5千円で200万円余り増額になっている理由は。

**A** 清流中学校のスクールバスの委託料です。増額の要因は燃料費または修繕費、整備費等は別の予算で支出していたが、今回の入札はそれらを含めた入札となっているために増額となっている。



現在運行されているスクールバス

——防災無線について

**Q** 防災無線の工事費として550万2千円を計上し、平成20年度は2ヶ所を改修する予定のようだが、全町に難聴地域は何ヶ所ほどあり、何年計画で全域をカバーする予定なのか。

**A** 平成19年度は2ヶ所、本年度も2ヶ所、地域からの要望のところは終了した。

# 議案審議

## —— 印南町国民保険条例改正関係について

例改正関係について  
討論の結果、賛成12反対1で可決されました。

Q 65歳から74歳までの方々の国保税を年金から天引きするという制度に変えた理由は。

A 介護保険が年金から天引きされており、後期高齢者も年金から天引きという流れの中で、ただ単に事務的ということではなく、徴収の効率化が一番大きな理由である。

## —— 印南町国民健康保険条例改正関係について

Q 現行の制度では健康保持増進のため具体的に書かれていたが、改正案では統括的になっているが、目的は達成されるのか。

A 医療制度を将来的にわたり持続可能にするために、平成18年6月に医療制度改革関連法案が

設立されました。この中で、高齢者医療の確保に関する法律特定健康診査実施を定めることが義務づけられました。

## —— 印南町介護保険条例改正関係について

Q この制度は平成20年度の激変緩和措置ということだが、これは20年度単独の措置なのか。

A 新保険料は平成21年度から改正ということですが、今回の条例改正は平成20年度のみです。



平成21年度に統合が予定されている真妻小

## —— 印南町立学校設置条例の改正関係について

Q 統合委員会の取り組みの経緯と到達点というのは、どうなっているのか。

A 真妻小・上洞小と切目川小の統合については、平成18年から平成19年12月まで再々統合委員会と協議を重ねてきた。結果として、いくつかの課題はあるものの、おおむね理解していただけた。

Q 統合を否定するものではないが、もう少し丁寧な対応がいるのではないか。

A 保護者の要望等についても協議はしている。今年1年かけて前向きに進めていく。

Q 統合するにあたって、子ども達の健康についての話し合いはあったのか。

A 保護者の不安の中に、子ども達の健康に対する件はありました。学校としてどこまで対応できるかというような協議はしています。

### その他主な議案

- 印南町甲区高齢者医療に関する条例の制定
- 印南町漁業経営構造改善事業分担金徴収条例の制定
- 印南町立小学校及び中学校の施設の開放に関する条例一部改正
- 辺地総合整備計画
- 町道路線の認定及び廃止について
- 平成19年度印南町一般会計補正予算
- 平成19年度印南町特別会計(5会計)補正予算
- 平成20年度印南町特別会計(10会計)予算

### 議員発議

左記の議員発議2件が提出され可決しました。

#### 一 発議第1号

#### 道路特定財源の確保に関する意見書の提出

道路は、社会資本生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基本的な利便、安心・安全な施設であり、地域の活性化に必要不可欠なことであり、国において、現行の道路特定財源の暫定税率及び地方道路整備臨時交付金制度の堅持を求めました。

#### 一 発議第2号

#### 在沖縄米海兵隊員による少女暴行事件に関する意見書の提出

2月10日の在沖縄米海兵隊員による処女暴行事件を受け、左記の事項について意見書を提出しました。  
①米軍の特権を与える日米地位協定の抜本的改定を行うこと。  
②実効性のある具体的な再発防止策について万全を期すこと。



梶本 敏夫議員

# 新町行政の推進について

質問 前町長の突然の退職により、去る2月24日投票による後任の玄素新町長を迎えて、新町の益々の発展を祈るばかりですが、町長選から新行政策11項目をかかげられ「未来のため・現在を創る」ために、この政策を推進していきますとお約束され、また、議会開会冒頭の町長所信表明にも、この政策ご推進を述べられました。ご当選以来、休む間もなく町長席に着かれて、極めてご多忙なご日程をこなされていることですが、行政には空白や停滞は許されませんか。

現在までは前町政の長期行政基本構想計画を着実に推進してまいっていますが、新町長の11項目の新行政策が加わり、開会冒頭でもかなり詳しく述べられました。この新政策の推進手順をうけたまわりたい。

答弁 町長

今回の選挙でマニフェスト11の公約を上げさせていただきました。この項目実施のため、機構改革を行わせていただきます。それに必要な予算は補正も含めて対応させていただきます。それと、その実施に向けての手順ですが、この11項目の全てを4年

間の任期で全てをやるというのが私の考えでございます。第1回目の課長会議で指示を出したところです。勿論、その間かかる期間等はいろいろございますので、順次4年間で実施させていきたいという考えでございます。

## 活気みなぎる町に

質問 情報化社会に向けてはいつから着手されますか。

答弁 町長

現在、施工中のものは20年度中に実施したい。地上デジタルは調査がまだまだ出ていない。調査をして実施を決めたい。

質問 産業振興策で作り育てる漁業で稚魚の放流は海と川へも放流ですか。また、切目川ダムには、さらに魚道も作られますか。

答弁 町長

観光と自然環境も含め、川も魚道も含め考えたい。

質問 企業誘致で進出企業の負担軽減も述べられてますが、働く人々の住宅が町内になく、田辺や御坊でアパート

住まいの人々もおられますが。

答弁 町長

宿泊設備については、まだよく判りませんのでさらによくうけたまわり対処していきたい。

質問 にぎわいある商店街づくりで道がよくなり、消費者の足が御坊や田辺に向いているようですが、その対策は。

答弁 町長

町長就任は18日目で流れを調べていません。今後、調査して対処したい。

質問 観光振興で今より多くの客の誘致について。

答弁 町長

印南町にある資源を結集していかなければならない。それに対する各論に対処していきたい。

質問 教育5Kプランで教師の質の改善で町はどうされるのか。

答弁 町長

県とのからみもあり、保護者の声も聞き、研修等考えていきたい。

## 地域福祉の充実

質問 育児環境の改善については。

答弁 町長

私の任期中に実施していきたい。

## 行政の活性化

質問 予算の見直しについては。

答弁 町長

これから生き残っていくため、よく検討し、随時見直していく。

質問 職員接遇マニュアルを導入しなければならないのでは。

答弁 町長

選挙中、町内の声を聞き、職員接遇マニュアルがあった方がよいと思っている。

質問 地区懇談会の開催時期は。

答弁 町長

新年度から全ての区を回り、住民の声を聞くために進めたい。



畑中 豊議員

# 保・幼一元化施設の 具体策について

質問 平成18年3月に印南幼稚園父母の会より、早期建設の請願書が出され2年になりました。

昨年、教育委員会で、そのための調査をして報告書にまとめています。

町長はその報告書についてどのような考えをもたれているのかお伺いします。

答弁〓町長

報告書を読ませていただいて、設置する場所、あるいは費用、住民の合意形成など、一つ一つ越えていかなければならないと感じています。

質問 教育委員会から、その報告書は、まだ議会には示されていません。新町長に報告をして、ここから先は新町長が判断されるということでありました。

選挙公約にもうたわれておりましたので、どのような政治的判断をされたかお伺いします。

答弁〓町長

越えなければならぬハードルはあるけれど公約どお



幼保一元化施設の候補地となっている「かえるの里」

り、出来るだけ早く建設できるように進めていきたい。

再質問 請願については印南幼稚園だけであり、町長が言われた住民合意のことからも、切目、切目川、稲原地区の人たちにも説明をしていくべきと考えますがいかがでしょうか。

答弁〓教育次長

これまで保育園、幼稚園を回って保護者の方々には説明をしている。

また、新年度から地区懇も予定しているので、その中で地域の方々に説明をしていきたいと考えています。

再々質問 そこで、開園の時期でありますが、これまで議会の委員会では、教育委員会から、新町長が決まって早く仕上げる。即やるということになれば、6月補正に実施設計の委託費を計上するとのこと。

それで、22年4月の開園になるとの説明がありました。町長はどうでしょうか。

答弁〓町長

私もフルスピードでということを示している。住民合意、建設場所、費用等々、課題はあるが

一つ一つ解決し、個人的には22年度から開園できるだろうと思っております。

今後、いくつか判断しなければならぬこともあるかもしれませんが、町がフルスピードでやる意思を示しているというところをご理解いただきたいと思います。



まづま保育園

質問 まづま保育園はへき地保育所であり、建物も、まだ新しく、教育委員会では残す考えになっていますが、町長はどうでしょうか。

答弁〓町長

まづま保育園は、へき地保育所であり、保護者の方々からも残してほしいとの話しも聞いていますが、とりあえず、今の結論は避けて、検討課題の一つにさせていただきます。と思います。

# 公共財産の有効活用について



堀口 晴生議員



有効活用が期待される水産加工大型共同作業場

質問 水産加工大型共同作業場は、補助事業で設置した経緯もありますが、今後どのような有効活用を考えておられるのか。

答弁 町長

適正化法の一定の制約を受けている現実的な問題はあります。

しかし、企業誘致というような形など出来る限りの方法を考え出し、有効活用に努めたい。

再質問 水産加工場の制約がある中で職種の違う会社などが参入できるのかどうか。

答弁 地籍・管財課長

今までは、用途についても厳しい制約がありました。和歌山県内において同様の悩みを持つ様々な強い要求もあり、県に確認したところ、水産関係以外の企業や職種の違うものでも認めてもらえるという確認はとっております。

質問 平成10年に工事が完成した漁港公有水面埋立地をどのような利用方法にするかという町民の声が多いが活用方法については。

答弁 建設課長

本年度末で公有水面埋立地の用途変更の制限期間である10年というものが経過したということから用途変更についても可能と考えられ、協議しながら活用を考えていきたい。



多目的公園などの活用に期待が高まる埋立地

再質問 アンケートから若い人からお年寄りにいたるまで、多くの町民が利用できる多目的公園の場所を希望されている。また、イベントやその他のいろいろな使用目的に活用してほしいなど具体的な利用を希望しているが、どうか。

答弁 町長

漁港法などの関係で漁業関係者の合意は必要となります。

前提条件として住民との基本合意が必要であり、その結果、多目的公園が必要だとい

うことになりましたら勿論その建設に向けて積極的に推進したいが、一つハードルがあるというのを認識していただきたいと思っております。

避難タワーの建設について

質問 印南地区では、東南海・南海地震津波対策として要害山への避難道路の整備、陸間の整備等、その対策は進められています。3年前には自主防災組織を設立し、意識も高く、昨年町に対して避難タワーの早期建設を要望しております。この要望に対してどのように捉えているのか。

答弁 総務課長

要望に対しては防災の観点からも重要と考えています。避難困難地域の指定を受けるよう、また、土地について業者に概算見積もモデル的に出して区長さんとも話しをしている。





藤本 良昭議員

# 重要課題3点について

## 新町長に問う

### 地上デジタル放送・ブロードバンドの早期対応について

**質問** 現在社会において、情報をいかに早く、送・受信するかによってまちの盛衰が決まるといわれている。新町長として、基本姿勢をお聞きたい。

**答弁** 町長  
ブロードバンドについては最優先課題の一つで20年度にほぼ全域カバーが可能であり、地上デジタル放送についても緊急の課題である。具体的状況に柔軟な対応を考えている。

**再質問** 共聴アンテナで受信している地域をはじめ、多様な形態の中で現在、テレビを観ているが、今後、代表者を呼んで説明会等を開き、協議の場をもつ考えは。

**答弁** 町長  
このことは、全町的に取り組む必要がある、NHK等、現在、調査中でその結果、必要不可欠な場合は実施したい。

再々質問 受信点、いわゆる

共聴アンテナの位置を変えなければ行けない地区もあり、費用がかさむが、町独自の補助は考えていないか。

**答弁** 総務課長  
補助対象となる部分と、ならない部分があり、個人宅への引き込み線等は補助対象とならないが、町として政策的支援も考えつつある。

### コミュニティ（地域循環）バスまたはデマンドタクシーの運行について

**質問** 少子高齢化が進む中で、コミュニティバスやデマンドタクシー、いわゆるバスの入りにくい地域へのタクシー等の手配など時代に即した対応への考えは。

**答弁** 町長  
私の公約の一つであり、アンケート調査やルート等、時間がかかるが実現できるように全力で取り組む。すでに指示をしている。



総務文教常任委員会視察「鈴鹿市・コミュニティバス」

**再質問** そうなるとダブル部分、すなわち路線バス等が現在、走っているが、どのように考えているか。

**答弁** 町長  
議論を重ね判断したい。

**質問** 関係者等が入った「検討委員会」を立ち上げる考えは。

**答弁** 町長  
もちろん、官民一体となつて他市町で実施の、よいところを参考に検証してまいりたい。

### 地籍調査の早期完成に向けて

**質問** 印南町は113.60km<sup>2</sup>のうち108.90km<sup>2</sup>が調査対象であり、各種公共事業の促進、個人間の境界トラブルの解消、適正課税等、インフラ整備の最たるこの事業への基本的な考え方は。

**答弁** 町長  
必要性は十分認識している。今回、人事異動で機構改革もやり、2.25倍のスピードで実施していきたいと考えている。

**再質問** 実務にあたり、外注導入はどのように考えているか。

**答弁** 企画・管財課長  
大きく分けて2通りあり、一筆調査と測量業務があり、一筆調査はやはり秘密保持の関係で役場が一部関与するため、一部外注で、測量業務は全部外注で実施を基本としている。



榎本 一平議員

# 産廃処分場に対する態度は

光川地内の産廃処分場中間処理施設、御坊市塩屋町森岡地区に計画

質問 光川地内の産廃処分場中間処理施設計画には住民、各団体から「建設反対」の声が上がっている。

昨年12月11日、県と住民、18日に業者と住民が話し合いをもち、改めて住民の「反対」の意思が示された。光川地内のこの計画に対する町長の態度は。

昨年10月31日、御坊市塩屋町森岡地区が「産業廃棄物リサイクルセンター」の誘致を発表した。この計画に対する態度は。

答弁 町長

光川地内の計画は許可権者は県であり、町として私が言える立場にない。

多くの町民が「反対」を表明していることは理解しており、重大に受け止めている。

答弁 生活環境課長

昨年12月4日、業者は南谷、明神川両区に事前に説明し、意見や危惧ができれば理解と同意を得るよう、県に対し、町の意見を述べた。

再質問 今後、南谷、明神川両区が「建設反対」を示せば、この意思を尊重するのか。

答弁 町長

町民福祉に重大な危険がせまってくるならば考えなくてはならないが、過度な介入はないようにする。

## 後期高齢者医療制度を問う

質問 後期高齢者医療制度の仕組みが明らかになるにつれ、不安、心配の声が広がっている。

この制度の最大の問題点は75歳以上の高齢者を別の医療制度に移し、医療に格差を付けようというものである。

直ちに国に対し、この制度の中止を求めるべきと考えるが。

答弁 住民課主幹

制度が実際にスタートして改正が必要となった場合は、国に対し意見等を述べる。

再質問 保険料は所得割と均等割で計算される。収入が少ない人にも均等割がかかる過酷な仕組みとなっている。町独自の減額、減免制度が必要ではないか。

答弁 住民課主幹

町独自の減額措置をとるこ

とは可能だが、その根拠や手続が必要となり、町財政の負担も伴うため、町独自の減免制度は考えていない。

再々質問 保険料滞納者への保険証の取り上げも重大な問題だ。

当町は「保険証の取り上げを行わない」という考えをもっているか。

答弁 住民課主幹

「保険証の取り上げ」の対応はこの制度を運用する県の広域連合の権限であり、町には権限はない。

## 原油価格高騰から町民の生活や各産業を守る積極的な取り組みを

質問 原油価格高騰が町民の生活や農業をはじめとする各産業に大きな影響を及ぼしている。

灯油は1缶1,800円台に、ガソリンなども約1.4倍ほどにはね上がり、関連した原材料費、食料品や生活必需品も値上げが相次いでいる。

ハウス農家、漁業者、運送業者、クリーニング店など燃料油を使用する皆さんからは

「経営が厳しい」の声が上がっている。

町はこの問題で実態調査などは行っていないか。また、町民が気軽に相談に来られるような相談窓口を設置する必要があると考えるが。

答弁 産業課長

実態調査は行っていない。相談窓口の設置は今後も考えていない。

再質問 各方面から「経営が厳しい」の声が上がっている。

町長は議会初日の所信表明の中で「第1次産業は町の基幹産業」と位置付けている。

燃料費に対する助成などを行い町民の生活を守る対策が必要ではないか。

答弁 町長

確かに原油価格高騰で所得は下がることはある。油に対する助成をしても所得は上がらない。

農家の経営努力が求められるのであり、燃料代に対する助成などは得策ではないと考える。





西山 徹議員

## 行政の活性化について

### 職員の意識改革について

**質問** 行政の改革は、まず内  
部改革が必要です。行政改革  
の作業をする職員の意識を変  
えることが必要だと考えま  
す。

**職員**の意識改革に必要な政  
策について、どのように考え  
るのか。

**答弁** 町長

庁内ベンチャー制度である  
とか、接遇マニュアルの導入、  
各種研修の強化をしたい。ま  
た、財政改革をすることで職  
員の意識改革につながると思  
います。

**再質問** 職員の意識改革を住  
民に感じてもらうためには、  
職員からのあいさつをするこ  
とだと考えるがいかがでしょ  
うか。

**答弁** 町長

イメージアップのために  
は、接遇マニュアルの中で規  
定した上で、早急に作りたい。

### 地区懇談会の開催について

**質問** 情報公開と情報の共有  
により、住民との協働による  
まちづくりが進められると考  
えます。そのためには住民と  
意見交換ができる場をもつこ  
とが大事であり、地区懇談会  
の開催について、どのように  
考えているのか。

**答弁** 町長

新年度から始めていき  
たい。バランスのとれた形で  
地区で進めていきたいが、と  
にかく住民の皆さんの考え  
を、聞かせてほしい。

陳情も含めて、住民の皆さ  
んとの溝を埋めていきたい。

**再質問** 町長との懇談会だけ  
でなく、各事業別に各担当課  
が地域に向いて、住民に対  
する説明会を開くことはでき  
ないのか。

**答弁** 町長

私が重要視するのは住民合  
意です。住民合意を得ること  
が政策実施における担保と考  
え、住民に対する説明は必要  
あると考えている。

### 農業政策について

**質問** 印南町には適地適作を  
生かした農産物がたくさんあ  
ります。これらをさらにPR  
し、いかに農産所得の向上に  
つなげていくかであると考え  
ます。そのために町として、  
どのように取り組んでいくの  
か。

**答弁** 町長

PRは重要であります。一  
例ではありますが、兵庫県の  
稲美町のイベントへ招待され  
ていますが、周辺には10万人  
都市が4市あり、そこでPR  
し、農産物の販路拡大にも努  
めていきたいし、農業以外で  
もPRし、今後、稲美町との  
姉妹提携も視野に入れた中  
で、取り組んでいきたいと考  
えている。



19年4月の「稲美ふれあいまつり」でのPR活動



谷井 長平議員

# どう進める、住民参加のまちづくり

—— 人も自然もいきいき・豊かで活力ある町 ——

**質問** 住民と行政が一体となり、公平で民主的な町政の推進についての考えは。

**答弁** 町長

地区懇談会とか、行政から町民に有益な情報を積極的に開示していく。そのことにより、行政と住民の間の溝を埋めて、住民参加のまちづくりの礎を作っていくきたい。

## 職員の意識改革、能力開発の向上に取り組む

**質問** 時代にあつた地域づくりを進めるため、これまでの制度、手法、慣習を見直し、職員の意識改革や能力開発を一層進める必要があるのでは。

**答弁** 総務課長

従来の行政活動に無駄な部分ははないか、費用に見合うだけの効果を出しているのか。絶えず見直しを行い、成果を生み出すようめざしていきます。

職員の自らの意識改革、能力開発向上に取り組み、新しい行政課題に対応できるように、各研修会にも参加し、そうしたことにより職員の意識も変わってきています。

## 地籍調査はスピードを2倍にする方針

**質問** 地籍調査、観光事業等に重点を置いた職員配置についての考え方は。

**答弁** 町長

地籍調査についてはスピードを2倍の方針を立てる。

また、庁内ベンチャー制度であるとか、私の職員に対する態度、これも風通しのよい職員環境をつくり、そのことでまちづくりの再生に向け最大限努力をしていきます。

## 印南町は現在、県下有数の健全財政を保っている

**質問** 健全な財政運営について厳しい財政状況が続く中、住民サービスの低下につながる行政経費の縮減についての考えは。

**答弁** 総務課長

今まで以上に広い視野で事業の計画、実施、検証、見直しを徹底し、ニーズに対応しながら、コスト削減に努めていきたい。

経常収支比率、公債費負担

比率、財政調整基金等、主要項目で県下30市町村中、上位5位にあり、今のところ、健全な状況にあります

## 広域行政施策の推進は必要

**質問** 広域行政施策の推進についての考えは。

**答弁** 総務課長

消防、救急、医療、環境衛生などの事業を広域で実施しています。

住民ニーズに対応し、住民サービスの向上を図る上でさらに広域的な事業の推進が必要だと思います。

## コミバスは地域運行計画を策定、利便性・公益性から取り組むべき

**質問** コミュニティバスの新規運行や運行地域の拡大、通信サービスについての考えは。

**答弁** 町長

コミュニティバスについては、地域運行計画を策定することになっている。現実問

題としては可能な形で実現は出来る。ただ、お互いの自治体を越えての協議となり、時間がかかるものになってくる。利便性、公益性の上からも取り組むべきだと思います。通信についても全く同じです。



## 当面、内部改革でいくも？

**質問** 市町村合併について、印南町は当面内部改革でいくとしていますが、新たな枠組み、広域合併の気運の高まりが出てくれば、それに参加する意思はありますか。

**答弁** 町長

財政状況、周辺の状況の急変等、それに対応できるのも町長の資質のものであると思います。

市町村合併について、完全否定するものでもありません。



道 修一議員

# ブロードバンド整備と地上デジタル放送対応

— 行政のとるべき道は —

## 全町整備については期待している

質問 ブロードバンド全町整備について。

答弁 総務課主幹

全町整備については行政も大きく期待している。4月より第一期サービスの申し込みの受け付けをケイ・オプティコムが実施する。

町長から、全町整備についてケイ・オプティコム副社長に要望した。先方も最大限の企業努力をすると確認した。

再質問 全町整備について確答を得たのか。また、財政的支援もせねばならないのか。

答弁 町長

全町整備について、先方に受け取って貰ったと思っている。その先については解らない。

再々質問 民設民営式の事業のため、行政も業者も、この事業について町民に説明がない。営業段階になるまで町民が解らないのではなく、行政のとるべき道は。

答弁 町長

広報的に足りないところは行政が補完していかなければならないと思っている。

## 町民への説明会については？

質問 町民が説明会をもってほしいと要望があればやってもらえるのか。

答弁 総務課主幹

町民から要望があれば業者へ仲介の労はとらしていただく。ただし、行政が主体となって説明会を開くことは考えていません。

## ブロードバンドとデジタルテレビは別の対応

質問 デジタルテレビ対応について伺いたい。

答弁 総務課主幹

昨年来、公設民営によるケーブルテレビ方式によるデジタルテレビ対応の要望を受けています。

町内の電波の状況、共聴施設の受信状況等勘案して、町内の合意形成が伴わないと考

え、ブロードバンドとテレビ対応を分けて考え、事業を進めている。

デジタルテレビ対応については、この3月より御坊中継局から正式にデジタル電波放送を開始している。町内には、田辺からの電波受信、切目の中継受信等あり、全町的な電波の状況等を検証して行政、民間で対応を計っていききたい。

## 町民の要望はケーブルテレビでのデジタル対応

再質問 町民からの要望の主たるものはケーブルテレビによるデジタルテレビ対応であった。

行政は共聴方式を残し、利用者の負担で改修するということであるが、これを解決する方法について、町の考えを聞きたい。

答弁 町長

町民から、そのような要望が上がってきていることは存じております。地デジについて今まで原則個人でということであったが、それを凍結する。

その上で、電波の調査状況等見て、どのように解決したらいいのか考える。ケーブルテレビの導入について、選択肢から外さずに、いろいろな選択肢から、多少時間がかかるが町民にとって、良い方法を考えていきたい。



某局のケーブルテレビシステム

# 「委員会活動報告」

## 総務文教常任委員会 厚生常任委員会

今回は、総務文教常任委員会と厚生常任委員会が合同で次のことについて調査を行いました。

### 幼保一元化施設について

1月30日、厚生・総務文教との合同委員会を開催。

平成18年3月、印南幼稚園父母の会より幼保一元化施設の請願が出され、2年が経過することから現状・今後について教育委員会の説明を受けた。

### これまでの経過報告として

昨年、7月から10月にかけて、幼保一元化施設の調査研究事業ということで、民間業者に委託をした。

9月末に中間報告



総務文教・厚生常任委員会の合同調査研究

### 施設の面積について

施設の延べ面積	約2,000㎡
幼稚園の専用部分	585㎡
保育園の専用部分	631㎡

このように報告書として受けていたが、10月末から町長が入院され、その報告書の説明はできていない状況。そんな中で、公表もしていないということもあり、細かい点について、この場でも差し控えていただく。ただし、全体的な面積とかの調査結果はご紹介させていただく。

共用部分を足しますと、幼稚園はトータル962㎡、保育園はトータル1,038㎡であります。また、事業費は概算で、5億2,700万円という結果が出ています。

今後の進め方については、新しい町長が決まってからになります。

このような説明を受け、質疑に入りました。

Q かえるの里が適正地といふことか。

A 3ヶ所調査しているが、かえるの里が一番最適地ではないかということです。

Q 当初目標としていた21年4月は、もう無理ということですね。

A 去年の11月ぐらいに着工しなかつたら出来ないと思う。

Q 本事業の予算化についてはどうか。

A 新しい町長が決まって、どう判断されるか分からないが、早く完成させるということであれば、6月補正に実施設計委託費を計上して、22年4月開園。一番早い方法で、そうなるということです。

以上のような質疑を交えながら、3月議会がすぐに始まることもあり、新町長には即、報告書をあげて、6月議会に関係予算を計上するよう提言し、閉会した。

### 産業建設常任委員会

閉会中の所管事務調査として、印南町における農林水産業の振興策について、担当課の説明を受け、いくつかの提案を行った。

農林水産業振興関係の事業は補助事業も含め、農業関係で9事業、林業関係で4事業が実施されている。ただし、これは産業課担当の事業である。

また、農林水産業にかかると補助団体として8団体と

なっている。

主な事業としては、経営構造改造対策事業ということで低コスト耐候性ハウス建設がある。この事業は事業主体を稲原西ミニトマト施設組合で実施している。

次に野菜花き産地活性化事業としてJAみなべいなみが事業主体となって、パイプハウスのレンタル事業として実施している。また、同事業において防油堤の設置についても実施している。

中山間地域等直接支払い事業については平成13年から実施され、平成17年に第1期が終了したが、効果があったということで、平成18年から22年にかけて第2期として実施している。

次に農作物鳥獣害防止対策事業として、年々、鳥獣被害が増加していることから、電気柵、波トタン、ワイヤメッシュ、イノシシネットなどで対策している。

林業振興関係では森林組合が主な事業主体として、森林整備地域活動支援交付金事業を実施している。

このほか、森林病害虫防除事業、森のチカラ再生サポート事業、山村地域再生事業などを実施している。

産業課より説明を受けた

後、質疑応答に入り、農林水産業振興に熱意を表した。



農林水産業振興は印南町にとって不可欠

て、今後も力を入れていかなければならないと思っている。

Q 今後、産業課として検討している事業などはないのか。

A 防油堤について、環境面できいろいろと問題も出てくるので、建設にかかる費用の3分の1程度の助成をしていく方向で考えている。

Q 有効な補助事業などはないのか。

A 補助事業は、どの事業でもそうだが、採択基準や目標値の達成の検査が年々厳しくなってきた。

Q 以前、近鉄等で印南の特産物をPRしてきたと聞いているが、みなべ町のように印南町も行政が積極的に販路拡大に力を入れていくべきだと思うがどうか。

A 現在SAで販売PRを行っている。効果も見られるということだが、今後機会ある毎にPR活動に力を入れていきたい。

A つくる漁業の一環とし

Q 漁協への補助金でイサキを中間育成して放流するということであるが、もっと規模を大きくできないのか。

A 40歳までは青年農業者、40歳から60歳までは地域農業者、指導農業者は町内において8名の認定。

Q 農業者に指導農業者、地域農業者、青年農業者とあるが、どういった基準になっているのか。

### 全議員研修会

議会開会中の3月22日、今年4月1日から制度が始まる後期高齢者医療制度について、全議員による研修会を開きました。

後期高齢者医療は75歳になれば国民健康保険や社会保険から自動的に後期高齢者医療制度へと移行します。

研修内容について主なものをQ&A方式で報告いたします。

Q 後期高齢者医療制度の運営主体は？また、印南町はどのような事務をするの？

A 運営は和歌山県内の全ての市町村で構成する広域連合となります。広域連合では被保険者の認定や保険料の決定、医療の給付など制度の運営を行います。印南町では加入や脱退、各申請の届出の窓口、保険証の引渡しや保険料の徴収などを行います。

Q 現在の老人保険制度とどこが違うのですか

A 老人保険制度と変わります。しかし、老人保険制度では、加入資格はそのま

までしたが、後期高齢者医療制度は、国保・社会保険・共済組合等の加入資格を喪失して、後期高齢者医療に加入することになります。

Q 今まで受けていた検診についてはどうなるのですか。

A 今までの老健の健診については町が実施主体で行ってききましたが、後期高齢者医療では広域連合が実施主体となり、各自で最寄りの指定金融機関での受診となります。印南町では3医院が指定される予定です。

ただ、広域連合指定の医療機関であれば和歌山県内のどこの医療機関でも受けることができます。

Q 後期高齢者医療の運営財源（保険料等）はどうなりますか。

A 後期高齢者医療では75歳以上の加入者全員が保険料を支払うシステムになります。ただし、所得によっては7割、5割、2割の軽減が受けられます。

運営財源は国が2分の1、国保や社会保険などが

ら4割、後期高齢者保険料として1割の負担となります。

Q 保険料は、どうやって支払うのですか。

A 原則的には年金から自動的に保険料を天引きすることになります。

また、保険料は均等割と所得割で構成されており、資産割額は計算されません。賦課限度額は50万円となります。

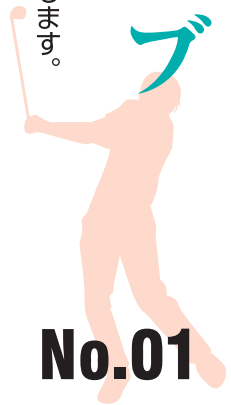
平成20年4月1日から始まったばかりで、いろいろな課題もありますが、機会があれば最新情報をお知らせしていきます。



後期高齢者医療について全議員での学習会

# 紀南カントリークラブ

印南町内には県下で唯一、3ヶ所のゴルフ場が操業されています。今号は町内で最初にオープンした「紀南カントリークラブ」をご紹介します。



長岡 修 支配人

25名の従業員となっている。現在会員数は約700名。若い層の会員確保が課題である。

### 規模と利用者の推移

ゴルフ場の規模は18ホール・パー72、7,045ヤードのコース。ここ5年間の利用者の推移は年間約35,000人程度、全国的に見てもやや右肩上がりだが、ほとんど横ばいの状態である。

近年、マスコミ等の影響や料金が安くなったということなどで、好転の兆しが見えている。

### キャッチフレーズは

「水と風」調和のとれた「ゴルフ場」をキャッチフレーズに「水は池をコースの一部として取り込んだり、「風」とたわむれてプレーしていただけたらと思っています。

レジャーの多様性が進む中で、「ゴルフ場」の営業は委託しており、

場に来られたお客様に、機械的なサービスではなく、心のこもったアナログ的なサービスに心がけています。

### 今後の抱負などは

ここは、大阪からも遠く、地元は3ヶ所のゴルフ場ということなどで、商圏としては非常に厳しいものがあります。

印南の良さ(海があり特産物もある)をからめたプランの提供やハウ

スに戻ったときに安らいでいただける心からのおもてなし、また、コースの整備の徹底やプレーしやすい表示など、また行きたいと思えるゴルフ場づくりをしていきたい。

### 印南町に望むこと

印南町はすべに対応していただける小回りのきく行政をしている、ということに満足しています。

以前も実施されていたゴルフコンベンなど計画していただき、町民の方々が気軽にゴルフを楽しめるような環境をつくっていただきたい。



「水と風」自然の中で楽しいゴルフを

## あとがき

今回の3月定例会は、去る2月24日執行の町長選挙において、玄素新町長が誕生しての初議会。

8名の議員が一般質問に立ち、多くの傍聴人が見守る中、新町長の町政に対する考え、機構改革についての意気込みを質しました。また、今回は20年度予算を審議する議会として活発な論戦を展開。多面にわたっての審議がなされました。

この議会がよりが皆さんのお手元に届く頃は春爛漫の季節を迎えていることと存じます。今後、議会活動状況を皆さまにより多く知っていただくために、より解りやすく、読みやすい「議会だより」づくりに努力したいと考えていますので、皆様のご意見をいただきまますようお願いいたします。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 榎本 一平
- 副委員長 西山 徹
- 委員 廣野 英幸
- 委員 前山 立美
- 委員 谷井 長平
- 委員 鈴木 紀博